

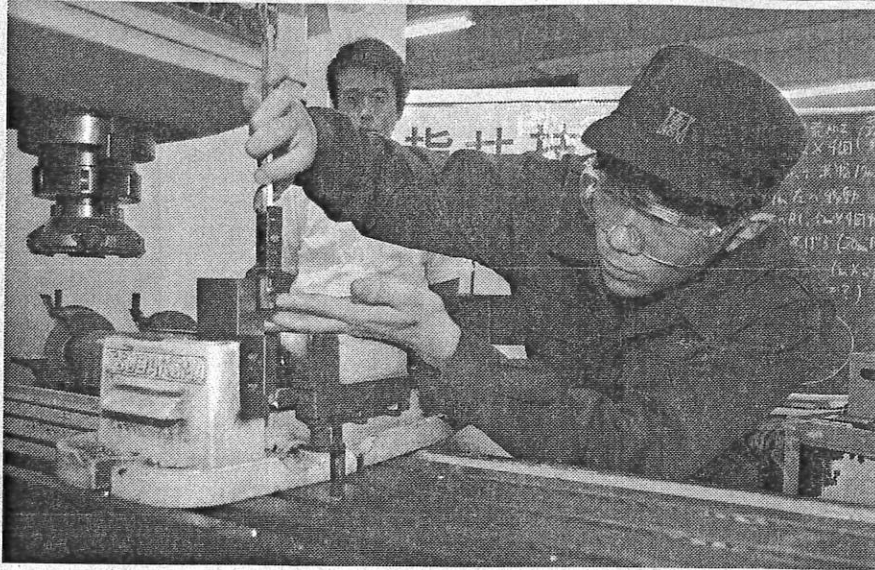
# 田工高の三宅君

# ものづくり大会に出場

## 27日 滋賀 高校生では県内初

田辺工業高校(田辺市あけぼの)機械科3年生の三宅成人君(17)が、27日に滋賀県である第9回若年者ものづくり競技大会フライス盤の部に出場する。県職業能力開発協会が、この競技大会に高校生を出場推薦するのは初めてのこと。

厚生労働省と中央職業能力開発協会主催。フライス盤の部には、各地の職業能力開発協会から推薦を受けた20歳以下の25人が出場する。競技大会では3時間で課題通り、鋼をフライス盤で加工する。精度は100分の3ミリ。三宅君は技能検定の機械加工普通旋盤作業と機械検査作業の各3級を取得している。競技大会に向けて今春から、機械科の阪本貴弘教諭(34)や外部講師の指導を受け、効



1位を目指し、練習に励む三宅成人君(田辺市あけぼので)

率よく仕上げ、精度を高められるように腕を磨いている。競技大会のほか、今夏の技能検定では三宅君が機械加工

フライス盤作業3級、阪本教諭が同一級を受ける。教諭では他に、機械科の立花昌史教諭(41)も機械加工普通旋盤作業1級に臨む。県職業能力開発協会によると、県内に勤務する現任教諭ではいずれの職種も1級受験は初めてという。

三宅君は「先生も技能検定を受けるので心強い。練習日を増やして競技大会では1位を目指したい」と話している。